



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 川口登志雄
幹事 鈴木 正人
SAA 赤津 善宣
会報小委員長 嵐 繁雄

◎例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ◎事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
◎例会場 ホテルミドリ 〒974 - 8261 ホテルミドリ内
TEL0246 - 62 - 3737

第 2584 回 例会 平成 27 年 1 月 14 日 (水・晴)

2014~2015年国際ロータリーのテーマ

会員卓話

生駒 祐健 会員

◎会長報告 - 川口登志雄会長

皆さん、今日は。年明け 2 回目の例会となり後半がスタート致しました。今日の雲 1 つ無い天気のように私川口丸の帰船が穏やかで何事も無い航海を祈っております。それではいろいろな感謝状が届いておりますので皆様にご報告したいと思います。渡邊公平ガバナー年度のときにフィリピンの台風被害に 2530 地区から 200 万円の支援、シェルターの支援それに対する感謝の文書が届いております。それから米山奨学会本部からいわき勿来ロータリークラブの特別寄付に対する感謝状も届いております。佐藤英二小委員長が出席された時に佐藤英二小委員長よりご報告をして戴きたいと思っております。もう 1 つは新入会員を推薦した方に対して感謝する意味で R I から推薦者に対しバッヂを贈呈することになったように届いております。それから本日の会員卓話は生駒会員の干支に関するお話で私も大変興味があり楽しみにしております。私からは以上です。

◎幹事報告 - 鈴木正人幹事

・政界いわき 11 号、年賀状が届いておりますので回覧中です。
・いわき桜ロータリークラブ、いわき平東ロータリークラブから 1 月のプログラムが届いておりますので回覧中です。
・いわき分区分新入会員合同セミナーが 2 月 18 日に正月荘で行われる予定です。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 佐藤政司委員

本日の出席状況は下記の通りです。なお、本日は出

ロータリーソング 我等の生業

— 今月はロータリー理解推進月間 —

ロータリーの行動規範

榊田 幸雄 会員



席奨励賞を差し上げたいと思っております。名前をお呼びしますので前の方へどうぞ。榊田会員、本間会員、遠藤会員、荒川清会員、鈴木幹事おめでとうございます。



◇スマイルボックス委員会 - 遠藤副委員長

・川口丸の帰船も今日の天気のように穏やかな航海でありますように。金成、岩元、鈴木 (泰)、内藤、赤津 (善) 各会員及び渡邊公平バスターガバナー、川口会長
・出席奨励賞ありがとうございます。遠藤、榊田、荒川 (清)、本間各会員及び鈴木幹事
・1 月 12 日湯本スプリングスでのゴルフ大会で優勝しました。山下会員
・前回休んでごめんください。木幡、矢代、佐藤 (政)、鈴木 (孝) 各会員
・本日早退ごめんください。鈴木雅之会長エレクト

◎会員卓話 - 生駒祐健会員

明けましておめでとうございます。日頃よりご指

導を賜りまして誠にありがとうございます。今日は干支についてお話をしたいと思います。



仏誕 2581 年 (紀元 2675 年) 平成 27 年乙未、西暦 2015 年明治から満 147 年大正から満 103 年昭和満 89 年
◎十干については、甲 (きのえ)、乙 (きのと)、丙 (ひのえ)、丁 (ひのと)、戊 (つちのえ)、己 (つちのと)、庚 (かのえ)、辛 (かのと)、壬 (みずのえ)、癸 (みずのと) の 10 種類それぞれの語は十二支と同じに草木の発生 - 繁茂 - 成熟 - 伏蔵の過程を 10 段階に分けて名付けられたもので、これは陰陽思想の応用です。

◎十二支について

十二支は子 (ね)、丑 (うし)、寅 (とら)、卯 (う)、辰 (たつ)、巳 (み)、午 (うま)、未 (ひつじ)、申 (さる)、酉 (とり)、戌 (いぬ)、亥 (い) の 12 種類の総称です。

十干も十二支もいつの時代に出来たかははっきりしませんが、十二支のほうが十干よりも古く殷の時代につかわれていたとも言われています。

初め十二支は 12 か月の順序を示すための符号 (数詞) でした。子は正月、丑は 2 月・・・と順繰りにつけていたものと考えられています。正月を寅にしたのは漢の時代以降です。本来は、第 1 の月である正月に子の月がくるのが自然ですが、夏正 (立春正月) が使われるようになって、正月は寅の月、2 月は卯の月、3 月が辰の月・・・と順位につけられ 10 月が亥の月、11 月が子の月、12 月が丑の月となりました。

十二支は 12 年ごとに一巡する年回りを示します。また十干と取り組み合わせられて、60 年で一巡する年、60 日で一巡する日を表すほか、時刻や方角などを示すのに用いられます。

十二支は十干と組み合わせられて記年法や記日法に用いられるほか、月名や方位にも使用されています。

たとえば、子の刻は午後 11 時より午前 1 時まで、丑の刻は午前 1 時より午前 3 時までと十二支を 2 時間ずつに割り当てています。また、子の方角とは北を指し、卯が東、午が南、酉が西をさします。

◎月の十二支の語源

月の十二支は、草木の発生・繁茂・成熟・伏蔵の過程、つまり陰陽の消長する順序を 12 の段階にわけて名付けたものです。

月の十二支が 12 か月の各月の特性を示したように、もともと時の十二支は 1 日における 12 刻の特性を示したものであり、方位の十二支は 12 方位の特性を示したものでした。

寅 旧暦 1 月。寅は蟻 (いん) うごく意味で、草木が春の初めにおいて発生する状態を表わしている。寅の月はすなわち正月であり立春の季節。

卯 旧暦 2 月。卯は茂 (ぼう) しげる意味または冒 (ぼう) おおう意味で、草木が発生して地面を

覆うようになった状態を表わしている。

辰 旧暦 3 月。辰は振 (しん) でふるう・ととのうの意味で、陽気が動き、雷が声を発し、草木の形が整って活力が旺盛になった状態を表わしている。

巳 旧暦 4 月。巳は巳 (い) やむ意味で、草木が繁盛の極限に到達した有様を表わしている。

午 旧暦 5 月。午は忤 (ご) つきあたる・さからうの意味で、草木が繁盛の極限を過ぎ、衰微の傾向が生じたことを表わしている。

未 旧暦 6 月。未は味 (び) あじの意味で、草木の果実が成熟して滋味を生じた有様を表わしている。

申 旧暦 7 月。申は呻 (しん) うめく意味で、草木の果実が成熟して締めつけられ固まっていく有様を表わしている。

酉 旧暦 8 月。酉は緝 (しゅう) ちぢむの意味で、草木の果実が成熟の極みに達した有様を表わしている。

戌 旧暦 9 月。戌は滅 (めつ) ほころぶ、切る意味で、草木の枯死する有様を表わしている。

亥 旧暦 10 月。亥は闔 (がい) とぎす意味で、草木がすでに凋落して生命の力が、種子の内部に閉蔵されてしまった有様を表わしている。

子 旧暦 11 月。子は孳 (じ) ふるえる意味で、新しい生命が種子の中に萌始める状態を表わしている。

丑 旧暦 12 月。丑は紐 (ちゅう) ひも・からむ意味で、萌芽が種子の中に生じてまだ十分に伸びない有様を表わしている。

◎木星と十二支

もともと十二支は、5 惑星のうち最も尊貴とされた木星の運行からきたものといわれています。木星 (歳星) が 12 年で天を 1 周することから、中国の古代天文学において、毎年度における木星の位置を示すために、天を十二分した場合の呼称が十二支でした。

木星は 12 年で天を 1 周しますが、厳密には 11.86 年です。木星は 1 年に 12 区画のうち 1 区画ずつ移行し、その所在は 12 次によってしめされます。木星は、太陽や月と逆に、西から東に向かって移動するので、木星の仮の所在ともいうべき星を設けて、これを時計の進む方向とおなじように、東から西へ移行させることにしました。

この想像の星は神格化されて太歳 (たいさい) と呼ばれました。そして、この太歳がいる場所につけられた名が、子 (ね)、丑 (うし)、寅 (とら)、卯 (う)、辰 (たつ)、巳 (み)、午 (うま)、未 (ひつじ)、申 (さる)、酉 (とり)、戌 (いなり)、十二支は、木星と反対方向に、同じ速度で巡る太歳がいる場合につけられた名称であって、これが年の十二支 (十二辰) です。